

学修者本位の大学教育におけるTF（ティーチング・フェロー）等の資質・能力の向上とその専門性に関する研究

蝶 慎一（香川大学）、上月 翔太（愛媛大学）、吉田 博（徳島大学）、飯尾 健（徳島大学）
寺田 悠希（高知大学）

※敬称略



【プロジェクトの目的】

学修者本位の日本の大学教育におけるTF（ティーチング・フェロー：TAの上位版）等の資質・能力とその向上、各大学で求められている具体的な業務内容や専門性について、それらの現状を描出し、関連する各種規程や情報を整理、分析することを目的とする。

※令和7年度～令和8年度の計2カ年度の研究期間を設定

2025年度（1年度目）の活動や取組の概要

7月11日	プロジェクト研究会（独自）@Zoom *研究メンバーでの問題意識の共有、本プロジェクトの方向性について意見交換	[年度 通じて] *TF等の指導補助者に関する情報を広く収集、整理しているところ。 (例：今年度の全国国立大学学生指導担当副学長協議会の承合事項による「9. ティーチング・アシスタント及びその上級職について（略）」) *各研究メンバーにおける関連研修、イベント等での情報共有
8月29日	SPODフォーラム2025 における関連講座（「指導補助者（TA）研修・プレFDプログラムをどう立ち上げるか？」）の受講および研究メンバー、同講座の担当講師との情報交換（吉田先生コーディネート、蝶ほか受講）	
12月26日	大学教育カンファレンスin徳島 における「特別講演（SA・TAと共に授業経験を作るとは）及びディスカッションの実施等（吉田先生、上月先生）	

➡おおむね計画に沿って実施していると評価できる。一方で研究代表者、分担者の各々コア校のTF等の業務内容や専門性に関わる情報について一覽的な整理や共通理解、問題点の共有は次年度の前半までに行えるように再計画を立てて進めて参りたい。

【2026年度に向けて（期待される成果等）】
◇次年度も**プロジェクト研究会等**を実施する。
(研究メンバーの所属大学での実態を共有したい)
◇**SPOD加盟校に幅広く役立つTFの研修に資する教材やその専門性の向上に向けた多様な知見を何らか整理**することを目指す。